

# パーキンソン病に特化した リハビリテーションプログラム



*LSVT***BIG**<sup>®</sup> and *LSVT***LOUD**<sup>®</sup>



LSVT  
Lee Silverman Voice Treatment

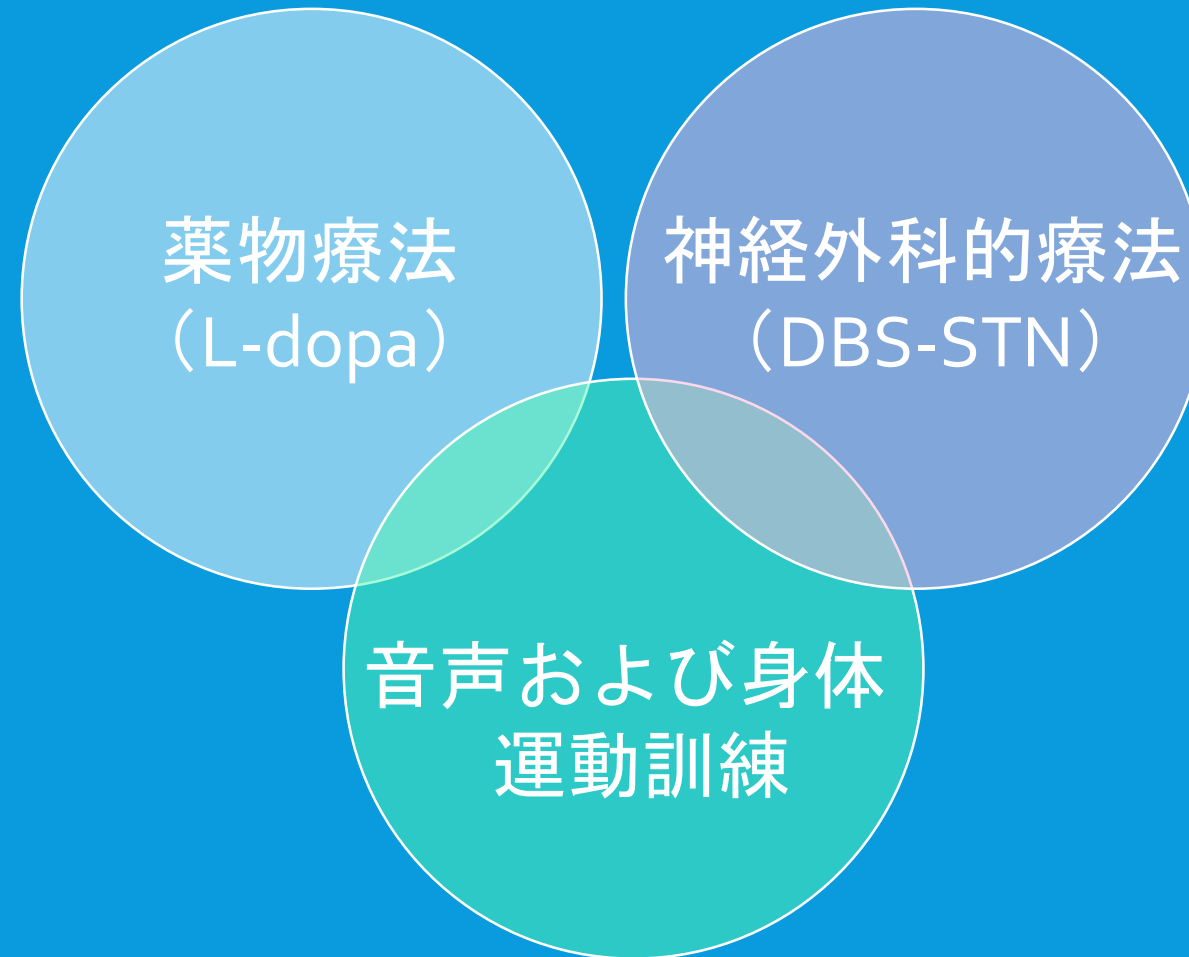


医療法人社団 三誠会

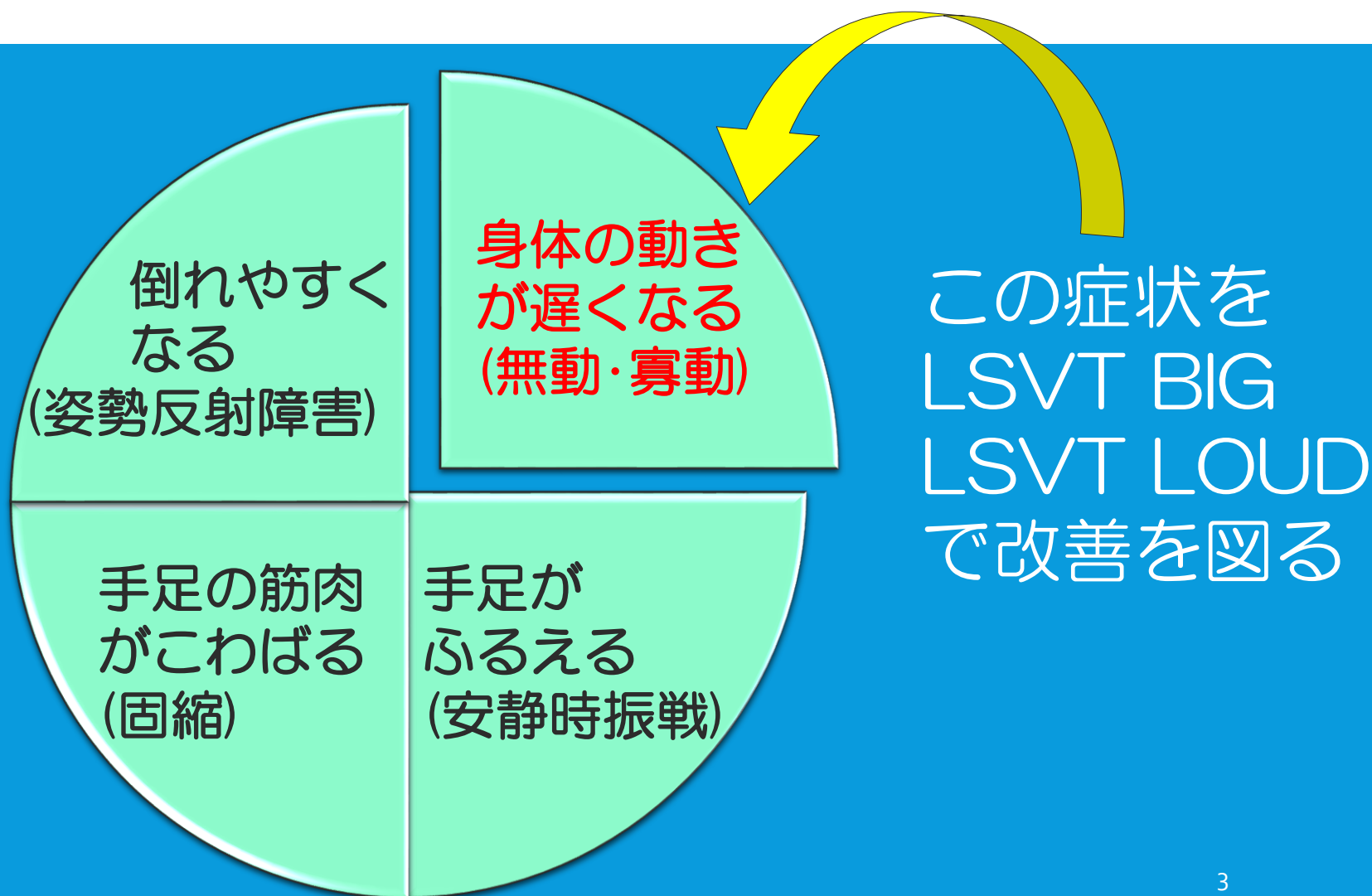
北斗わかば病院

# パーキンソン病の治療

症状を緩和し、機能を改善する



# パーキンソン病の代表的な症状



# LSVT BIG・LSVT LOUDとは？

アメリカのRamingらが考案したパーキンソン病に特化したリハビリテーションプログラムです。

**LSVT BIG** : 運動障害に対する治療法  
(動きを大きくする訓練)

**LSVT LOUD** : 発話障害に対する治療法  
(声を大きくする訓練)

# LSVT BIG の内容と効果

## 【LSVT BIGの内容】

LSVT BIGは、体を大きく動かすことを意識するリハビリテーションプログラムです。パーキンソン病の方は、体の動きが小さくなりがちのため、集中して大きな動きを行うことで、正常に近い動きを獲得していきます。

## 【LSVT BIGの効果】

研究では、治療を受けたパーキンソン病患者の運動機能の試験成績が改善したことや、治療終了後から16週間後も効果が維持されるなどの報告があります。

- より大きな歩幅でのより速い歩行
- バランスの改善
- 体幹の回転量増加
- 寝返りなど日常生活動作の改善
- UPDRS 運動系スコアの改善

# LSVT LOUD の内容と効果

## 【LSVT LOUDの内容】

LSVT LOUDは、大きな声を出すことを意識するリハビリテーションプログラムです。パーキンソン病の方は、会話する声小さくなりがちのため、声を大きく出す習慣を身に付けて、日常会話の音声と発話の両方を改善していきます。

## 【LSVT LOUDの効果】

パーキンソン病患者の音声及び発話障害に対する治療法として、レベル1のエビデンスと有効性を確立され、その他の神経障害にも適用可能な初めての発話療法。

- 治療の前後で比較すると、患者の90%で音声の大きさが改善している。
- 患者のおよそ70%が治療後12ヵ月から24ヵ月間にわたって治療による改善効果が維持している。ただし、脳深部刺激療法(DBS)を行っている場合は効果が減少する場合がある。
- 全ての患者からコミュニケーション能力が改善したと報告されている。

# 【LSVT BIG・LOUDの実施】

LSVT BIG・LOUDの資格認定されたPT/OT/STがマンツーマンで担当します

## 【訓練回数】

- 週に連続4日を4週間
  - 1ヶ月に16回のセッション
  - 1回60分のセッション
  - 毎日の効果持続のための課題（月に30日）
  - 毎日の宿題（月に30日）
- \* 個別訓練がない日は1日2回の宿題があります

# LSVT BIG・LOUDの対象者 その1

下記適応基準に合うかどうか確認させていただきます

## ①パーキンソン病を有する方（ホーン&ヤール重症度Ⅰ～Ⅲ）

### 【ホーン&ヤール重症度とは？】

- I度 障害は身体の片側のみで、日常生活への影響はほとんどない。
- II度 障害が身体の両側にみられるが、日常生活に介助は不要。
- III度 明らかな歩行障害が現れ、バランスを崩し転倒しやすくなる。  
なんとか介助なしで日常生活は可能。
- IV度 日常生活の動作が自力では困難で、その多くに介助が必要。
- V度 車椅子またはベッドで寝たきりで、日常生活では全介助が必要。



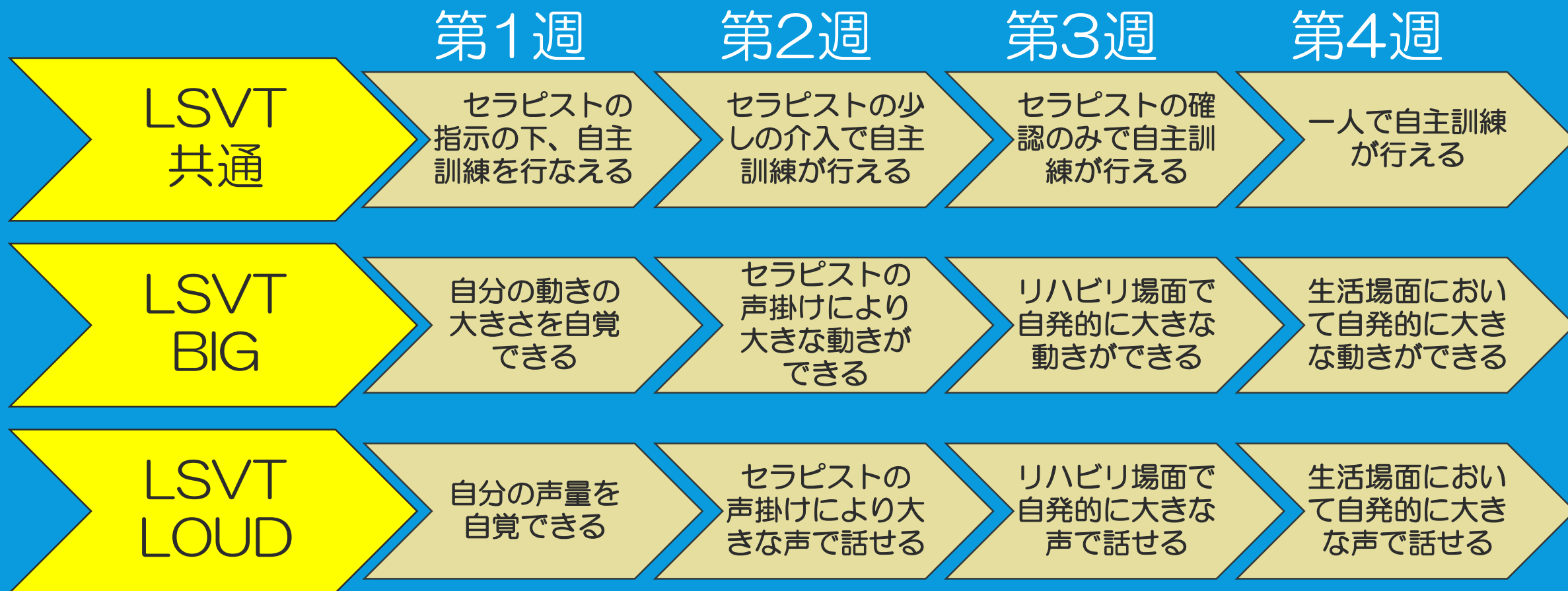
# LSVT BIG・LOUDの対象者 その2

下記適応基準に合うかどうか確認させていただきます

- ②約1ヵ月間の入院が可能であること。または、通院で週4回(連続)×4週間+初期・最終評価の2回の合計18回の通院が可能であること
- ③症状が安定していること(服薬の調整ができています)
- ④リハビリや自主トレーニングに意欲的であること
- ⑤医師の判断により、LSVTによる改善が見込めること
- ⑥声掛けのもと、動作や声量の大きさに変化が生じること
- ⑦当院の入院規定に同意できること
- ⑧休日、家族または家族に準ずる人が自主トレーニングに立ち会うことが可能なこと(困難な場合は、応相談とする)

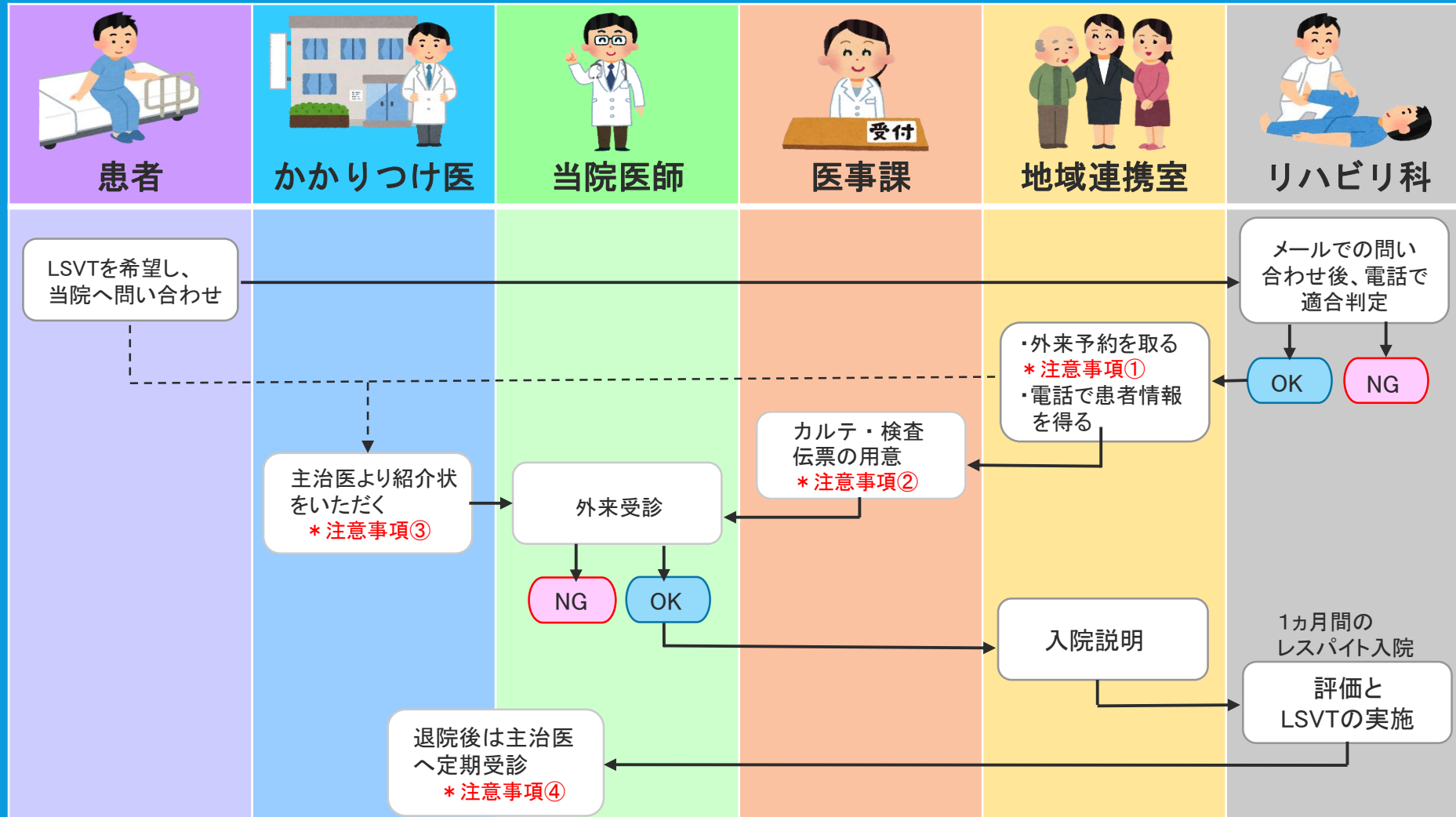
\*LSVTの回数は初期・最終評価を含め合計18回です  
\*8つの基準に合う方のみ、LSVTが実施できます。

# LSVT BIG・LOUDの訓練スケジュール



\*4週間の治療終了後は、1ヵ月後、3ヵ月後、6ヵ月後に外来にて状態確認をさせていただきます。

# LSVT BIG/LOUD 運用フローチャート(流れ図)



- \* 注意①: 外来受診予約日までに、かかりつけ医の許可と診断名、発症日、服薬状況を記載した情報提供書(簡便な内容)を用意していただくように患者様に説明して下さい。情報提供書(紹介状)作成には費用がかかることを説明して下さい。また、外来リハビリを希望の方は他院とのリハビリの併用ができないことを患者様に伝えて下さい。
- \* 注意②: 外来受診で初診の際は、診察前に必ず、心電図、X線撮影、血液検査を行って下さい。
- \* 注意③: 主治医に紹介状を書いていただくために、診療情報提供依頼書と診療情報書原本を患者様宛に郵送します。
- \* 注意④: 1ヵ月間のレスパイト入院が終了後、当院医師がかかりつけ医の患者様は当院へ毎月外来受診をして経過観察していきます。他院の医師がかかりつけ医の場合は、他院医師のところで定期受診をしていただき、経過観察をしていきます。

# LSVT BIG・LOUDに関するご質問や ご依頼はホームページからお問い合わせ下さい

本治療法の詳細情報につきましては、以下の連絡先をご利用ください

\*本治療は、基本的に約1ヵ月間の入院での治療とさせていただきます。  
尚、入院費・入院規定等の詳細につきましては、当院パンフレットを  
ご参照下さい。

\*外来での治療をご希望の場合は、応相談とさせていただきます。

**問い合わせ先：医療法人社団 三誠会 北斗わかば病院**

Webサイトへ ▶ <http://www.hokuto-wakaba.jp>

メールでお問い合わせをいただいた後、こちらからご連絡致します。

\*医療関係者以外の電話でのお問い合わせはお受けできませんので、一般の方はホームページ「お問い合わせフォーム」からご連絡下さい。<sup>12</sup>